



PRIMO JAPAN CSR REPORT

PRIMO RING PROJECT

2015

〈企業理念〉

プリモ おもい プリモ かたち 最高の夢を最高の幸に

Share The Moment

喜びの瞬間を、永遠の記憶に

人生に訪れる特別なできごとの数々。

その喜びを、ともに分かち合うことから私たちは始めたいと思います。

響きあう気持ちは、最高の幸せとなって。

やがて、永遠の思い出に変わっていく。それをいつも信じているから。

私たちは、プリモ・ジャパンです。

〈社長挨拶〉

1999年の創業以来、当社は「最高(プリモ)の夢(おもい)を最高(プリモ)の幸せ(かたち)に」を経営理念として掲げ、ブライダルリングの販売を行って参りました。結婚するお二人の最高の瞬間の気持ちを指輪という形に変えて持ち続けていただきたい、という想いが背景にあります。

2008年から始まった当社のCSR活動「RING PROJECT(リングプロジェクト)」は発足から地道な活動を続け、2015年で8年目となりました。『あらゆるものに愛され信頼される存在に』という意義に則り、活動の全国展開に取り組んだ今年も、全社横断で古着と古本の回収・寄付を行いました。また、東日本大震災発生元年から行っている気仙沼市でのクリスマスイベントは、継続5年の節目を迎えました。地域との触れ合いとして昨年より注力を始めた中学生の職場体験は、さらにエリアを拡大して札幌・仙台・千葉・柏・津田沼・京都の計6ヶ所で行うことが出来ました。今後とも関わっていただく皆様への感謝を忘れず、微力ではありますが活動を継続して参ります。

そして、一生に一度のお買い物をされるお客様の最高に幸せな瞬間をサポートさせて頂くために、全てのお客様の想いを裏切ることのないよう、結婚の瞬間にふさわしい品質のブライダルリングをこれからもお届けいたします。

代表取締役社長

澤野直樹



PRIMO RING PROJECTについて

多くの人々の幸せを創りたいという想いから。

当社には「最高(プリモ)の夢(おもい)を最高(プリモ)の幸(かたち)に」という経営理念があります。

その経営理念に基づき、1人でも多くの人々の幸せを創りたいという想いから始まった活動、

それが当社のCSR活動『PRIMO RING PROJECT』です。

お客様、取引先、従業員、地域社会、株主など、当社に関わる全ての人たちの願いが一つの大きな輪(RING)となり、

幸せを分かち合う人々の笑顔のRINGを大きく広げて行きたいと考えております。



◆PRIMO RING PROJECTの活動意義



〈社内横断型『RING PROJECTチーム』について〉

RING PROJECTチームは、当社のCSR活動を積極的に推進していく事をミッションとし、全国から立候補したメンバーで構成されています。第8期となる2015年も、全国での活動実施とプロジェクトの浸透を目指して活動起案から携わるプロジェクトメンバーと、全国での活動を推進するサポートメンバーという2つの軸で取り組みました。

プロジェクトメンバー

RING PROJECTの企画・提案・推進・啓蒙、
ブログの更新を行う主要メンバー

アイプリモ札幌店 田中 優衣

今年初めてプロジェクトメンバーとして参加したRING PROJECT。サポートの頃よりも、自分の発言や行動が反映される事が多く、改めてやりがいのある活動と感じました。会社の活動に直接貢献できる事はとても興味深くこれから入社される方へもプリモ・ジャパンの魅力の一環として勧めて行きたいです。



第3営業部 営業部長 播口 恵美

今年は、これまで継続してきた活動の内容をブラッシュアップしたことが多かった印象です。手探りで始めたサポートメンバー制度も徐々に活動の仕方が定まってきました。来年で10年目を向かえるため、今までにない新たな活動を出るようこれからも続けていきます。



アイプリモ郡山店 長内 芳子

今回初めて参加いたしました。自分自身難しく捉えており様々な取り組みや活動に参加していく中、周りからのサポートを頂きながらプリモ・ジャパンの活動を知ることが出来、人と人との関わりの中で多くの人を幸せにそして思いを広げて行ける活動に参加する事ができました。自分の経験を新たに発信して行きたいと思っています。



アイプリモ柏店 角谷 恵里奈

今回初めてプロジェクトメンバーとして参加させて頂き、普段なかなか接することの出来ないスタッフの皆さんと、普段出来ない本当に貴重な経験をたくさんさせて頂きました。『自分が動き出すことで誰かの役に立てる。』それが幸せの輪を繋ぎ、広げていく大きなポイントだと感じました。まずは一歩、自分が踏み出してみることを忘れずに、これからも活動に携わっていききたいです。



ラザールダイヤモンド横浜元町店 木村 綾香

今回初めて、RING PROJECTメンバーとして1年間活動をさせて頂きました。店舗にいただけでは体験できない沢山の体験と、沢山の出会いが出来ました江ノ島ビーチクリーンを行い自身でリンプロを知ってもらえる場を作る事ができたりと、とてもやりがいを感じた1年でした。経験をこれからも、店舗や色々な場面で活かしていきたいです。



アイプリモ富山店 高木 一直

入社10年目にして、今回初参加させて頂きました。年間4回の定例MTGで、各イベントの提案から議論・決定まで行なう為、圧倒的なスピード感で、会議が行なわれている事に驚きました。経験者の多さではなく、参加者の意識が高いからだとその場で強く感じました。それでも、個人としてはもちろん、全体でも課題が残ったと感じています。今後も継続して意識することで、少しでも課題をクリアしたいと思います。



アイプリモ近鉄あべのハルカス店 湯浅 聖子

一昨年、昨年に引き続き3年目の参加です。今年は私の活動地「関西」でも中学生職業体験を開催することが出来ました。少しずつではありますが、確実にRING PROJECTの活動は大きくなってきています。今後もたくさんの社員に興味を持って頂き、より充実した取り組みが出来るよう、引き続きサポートしていきたいです。



アイプリモ広島店 矢田 藍子

今回、初めてRINGPROJECTプロジェクトメンバーとしての参加でした。昨年より広島エリアにも活動を広げ、今年も広島にて清掃活動を行うことができました。自ら声を上げて実施する難しさを感じながらも、店舗を超えた人との関りに楽しさを感じ、充実感のある活動となりました。今後も多くの方にこの活動を知って頂けるように、積極的にRINGPROJECTに関わっていききたいと思います。



アイプリモ鹿児島店 花増 智子

参加してから、今まで他人事感じていた募金や献血といった、身近に出来る活動をするようになりました。少しの興味で自分が変わる事、また社外だけでなく、社内でも出来る活動がたくさんある事を知りました。個々の力は微々たるものかもしれませんが、何かのきっかけになればと今後も活動・発信していきます。



サポートメンバー

RING PROJECT エリアイベントへの参加、
ブログの更新を行う補助メンバー

ラザールダイヤモンド札幌店 近藤 彩佳

この度初めてRING PROJECTのサポートメンバーとして活動し、社会貢献活動について考える時間を頂けたことにより、今まで気付くことのできなかった身近で行われている多くの活動の存在を知ることができました。こんなにも自分にできることがあるのだなと知る機会を頂けたので、自分にできる些細な取り組みを、今後も継続していこうと思いました。



アイプリモ盛岡大通店 小野高 飛鳥

今期もサポートメンバーとして参加させて頂くことができました。活動を通してCSRへの意識が年々、店舗内でも高まって来ているように感じます。日常業務以外で社会貢献できる場だけでなく他エリアのスタッフの方々と意見交換ができ、新しい思考を持てる場でもあるのでとても自分の力になります。今期もありがとうございます！



南東北グループ グループマネージャー 吉岡 真由美

今年もサポートメンバーとしての参加でしたが、地域での活動も活発に行うことができました。自社だけでなく提携企業様にもご協力頂くことで、輪を広げることができたことはこの活動ならではの感覚です。これからもその輪をつなげ、広げていきたいです。



横浜グループ グループマネージャー 小澤 美帆

RING PROJECTサポートメンバーとして湘南のビーチクリーンと富士山の清掃活動に参加させていただきました。活動に参加した経験を活かし、提携先営業でも先方と会社のCSRの話題で盛り上がることもありました。メンバーであることでお客様の為、仲間の為、社会の為に何ができるのかを考える時間もつくれました。これからも身近なところで自分にできることを探し、行動していきたいです。



アイプリモ京都店 杉本 早苗

元々社会貢献活動に興味があり、3年前にRING PROJECTに参加させて頂きました。1年目は何をすれば良いのか、加減がわからず気付けば1年が過ぎてしまい、リベンジのために2年目も参加。前年の反省を活かし、より積極的に参加し活動を行いました。3年目ではさらに自分が主導になって活動を行うこともでき、続けて参加して良かったなと思っています。今後も、RING PROJECTに携わっていければと考えています。



アイプリモ札幌店 菱谷 実穂

初めて参加させて頂き、日常では気づけなかった環境問題や新しい人との出会いが貴重な体験となりました。働く環境の改善などに関しても今の自分には何を考え実行していけるのかと考えた事で、自身の視野を広げるきっかけにもなりました。今後もRING PROJECTをサポートし続けます。



LD札幌店 藤谷 理沙

サポートメンバーとして活動へ参加することで、今まで以上に活動の意味や自分が社会貢献活動に参加しているという実感を得ることが出来ました。今後も、より多くの方へこの活動を身近に感じて頂けるように、RING PROJECTの活動をサポートしていきます。



ラザールダイヤモンド仙台店 店長 庄子 真紀子

活動をさせて頂く中でいつも感じるのは、個人ではなかなか出来ない貴重な体験が出来るということ。地元の中学生と一緒に過ごしたり、富士山清掃を通して環境問題を知ったり、震災から4年経った今だから、新たな問題と向き合う方々のお手伝いをしたり…。直接問題を解決することは出来なくても、社会と関わり続けることに意味があると感じています。その楽しさをたくさんの方に知っていただきたいです。



アイプリモ池袋店 問柄 友梨香

入社前から興味を持っていたRING PROJECTに初めてサポートメンバーとして参加させて頂きました。RING PROJECTは日常では出来ない貴重な経験をするチャンスであり、自身を高める事が出来る活動だと改めて実感致しました。今後も店舗内・社内に少しでも浸透させていけるよう活動致します。



ラザールダイヤモンド名古屋店 店長 氏原 真耶子

2回目の名古屋ジョブプラクティスでは、昨年の評判を聞き付けて新しい施設の方が来て下さり、とても嬉しかったです。サポートメンバーは少しずつでも自分の思いを持って活動できるので、今後も継続して行っています。



ラザールダイヤモンド神戸店 岩尾 瑞季

今回参加したのは、プリモ・ジャパンの社員として、幅広い活動に参加してみたいと思ったからです。今年のメンバー募集は入社1年の頃。日々の業務や接客はもちろん楽しいですが、販売員としてだけでなく、もっと広い視野で会社と関わりたい、会社のことが知りたいと考えていたので、思い切って立候補しました。関西ではまだまだ活動が少ないですが、今後も積極的に参加していきたいと思っています。



01
お客様のために

Primo Interface Toolの開発・導入

アイプリモの新しいコンセプト、「Fortune Diamond」の世界観である幸福感や期待感をお客様に体感して頂くとともに、ブライダルジュエリー専門店として新しい接客体験をご提供するため、『Primo Interface Tool (以下「PIT」)』の開発・導入を行い、アイプリモ店舗の全接客ブースに導入しました。

店頭にご用意している約150型のブライダルリングをベースに、プラチナ・ゴールドでの素材選択やメレダイヤモンドのカラー選択のバリエーションを加え、約2,000通りの組み合わせを視覚的に確認することが可能になりました。これにより、お客様はお選びの商品の仕上がりをオーダー前に具体的にイメージして頂けるようになります。

また、ダイヤモンドの品質やリングの特性について視覚化することによって、お客様の商品に対するご理解が深まり、ご納得、ご安心してお求め頂けるようになりますとともに、お客様が「Primo Interface Tool」でご覧になられた商品をいつでも比較・検討できるよう、「Wish List」として発行できる機能をご用意致しました。この「Wish List」の発行情報はアイプリモ全店で共有され、お客様が転居等のご事情により、アイプリモ他店での接客となった場合においても、お客様をお待たせせずに、前回からの継続したご対応ができるようになりました。



お客様の声

『私たちはピンクゴールドの指輪を探していたのですが、画像を見せてもらえたので、仕上がりがイメージ通りでとても満足しています。』

『ダイヤモンドの品質について図で説明してもらえて分かりやすかったです。指輪の色が比較できたのが良かったです。』

より良い職場環境をめざして

ダイバーシティ推進

ダイバーシティとは、「社員の多様性を活かして、企業メリットにつなげる経営戦略」です。働き方の多様化を受け、より多くの社員の隔たりをなくするために継続的な取り組みをしています。その中で、今回は『男性の育児休業』についてフォーカスし、実際に社員で初めて育児休業を取得した第2営業部長の藤川陽平さんにインタビューしました。

男性の育児休業について

1 男性も育児休業を取得することが出来ます

- ・妻が専業主婦の場合や妻が育児休業中でも、夫も取得できます。
- ・1日単位で育児休業を取得することが出来ます。
- ・女性の育児休業と同様に期間中は無給となりますが、育児給付金が給付されます。社会保険料も免除となります。

2 男性の育休は2回取得することが出来ます

- ・対象期間①：出生日～出産後8週以内
 - ・対象期間②：出産後8週間～1歳
- また、育休1回目（期間①）を取得後、再度2回目（期間②）を取得することも出来ます。

3 『パパママ育休プラス制度』という法律があります

「パパママ育休プラス制度（父母共に育児休業を取得する場合の育児休業取得可能期間の延長）」を利用する場合は、育児休業の対象となる子の年齢が原則1歳2ヶ月までとなります。ただし、育児休業が取得できる期間は1年間です。

[取得者へのインタビュー]

Q1: 男性が育児休業を取得することについて、取得前はどのようにお考えでしたか？

A: 正直、取れるわけがないという古い考えでした。期限も長く取れば仕事をしていく中で、将来的な不安に駆られました。

Q2: 実際に取得して感じたことを、教えてください。

A: 家族と真摯に向き合えたことですかね。普段も休みの日は向き合っているつもりですが、この育児休業中は改めてしっかり向き合えた期間だったと感じています。

Q3: 生後8週以内と、1歳になるまでの2回取得出来る事についてどのように感じていますか？

A: 非常にありがたい制度だと感じています。子供の成長に合わせて取得することができますので、1回目と2回目では育児の仕方や向き合い方に変化があり本当によい制度だと感じました。

Q4: 実際の取得日数を教えてください。

A: 1回目は2015年6月29日～7月3日の5日間、2回目は2015年10月30日～11月1日の3日間です。

Q5: Q4の取得日数については、どのように感じましたか？

A: 丁度よい期間だったと自分は思います。長く取ることも可能でしたがあまり長く休むと仕事の感覚を失いそうなので。

Q6: イクメンの先輩として他の社員の方にメッセージをお願いします。

A: 男性社員の皆さんにお伝えします。是非、育児休暇を取れる期間に取ることをお勧めします。取得することで、しっかりと家庭に向き合える時間があるというのは家族にとっても、非常に大切なことです。そして、またこの家族の為・自分の為に働くパワーを貰えます。是非、悩まずに上司に育児休暇について聞いてください。



座談会

よりよい職場環境を目指して

ダイバーシティの推進によって働く意欲の向上を目指す

播口: ダイバーシティ推進について、メディアでも目にする機会が増えていていると感じますが、そもそもどのような考え方の基で行われている取り組みなのか、教えてください。

池之上: まずは概要をお話します。ダイバーシティとは、社員の多様性を活かして企業メリットにつなげる経営戦略のことを指します。多様化する社会の中で、様々な条件を持った方たちが快適に働ける環境、色々な働き方を提供できる環境を作ることを目指しています。「組織のパフォーマンスを向上させること」がダイバーシティの目的です。自社においては、まずは社内認知を広げるフェーズであると認識しています。

矢田: 具体的にはどのような取り組みを行うのですか？

池之上: 女性が多い企業ですので、女性が働きやすい環境づくりについては今までも取り組んできましたし、今後も継続的に進めていきます。最近では契約社員の評価制度を設けました。他社の成功事例も参考にしながら、自社に取り入れられる取り組みを行っていくと考えています。何よりもまずは、社員の8割を占める女性が快適に働ける環境づくりを充実させるところから始めます。

高木: 女性が働きやすい環境と聞くと、産休・育休制度が思い浮かびます。そのような制度を取得する社員が増えると、実質的な人員不足になると思うのですが、その辺りはどのように考えていますか？

池之上: まず産休でお休みを取る場合は、実際にお休みに入るまでは時間の猶予があるので、原則的にはその方がお休みに入る前に人員を確保するという方針で現在も進めています。

湯浅: 私の同僚が実際に産休を取得して、当初は戻ってくるつもりだったと思うのですが、産休中に退職になってしまったことがありました。そこに対しては何か対策をいただいたアイデアはありますか？

池之上: 産休・育休と長くお休みを取っている間に会社の環境が変わり、お休み前の状況と違う環境に復帰することでご本人に負荷がかかってしまうことがあります。現状は産休・育休取得中の方々に社内報を送付して会社のことを知っていただいているのですが、今後はお休み中でもより深く関係性を築けるような取り組みを提案しているところです。また、自己申告シートでご意見をいただき、2016年1月より時短勤務の拡充措置を予定しています。

花増: 実際お休みに入った方が復帰する際はどのような手順なのでしょう？

池之上: 現在は人事部長とご本人の電話面談によって、復帰時期の調整や手続きに必要な情報の交換を行っています。ご本人の状況によっては店長との面談が行われる場合もあります。

木村: 産休前に体調不良でお休みを取らざるを得ない場合は、どうするのでしょうか？

山上: 医師の診断で長期のお休みを取らざるを得ない場合は休職となり、傷病手当金も支給されます。一時的な体調不良など個人の判断で数日のお休みであれば、有休を申請する方が多いです。

角谷: 育休の延長措置を行う人は、実際どれくらいいるのでしょうか？

山上: 育休を取得した方のほとんどが延長措置を取っています。4月の保育園の一斉入園にあわせて、時期を延長していることが多いです。

多様化する働き方とともに起こる様々な問題に取り組む

高木: 話題は変わりますが、最近「マタハラ」という言葉をテレビでもよく耳にします。世の中の動きとしてもマタハラについてはより一層の認知が必要だと思うのですが、社内で定期的な周知活動は行いますか？

池之上: 新任店長研修へのコンテンツ追加を考えています。人事としてこの場でお伝えしたいこととしては、ハラスメントというのは上司だけが与えているものではないということです。スタッフ同士の関係性でも、ハラスメントが起こることを頭に入れておいてください。日々の何気ない会話の中で相手を傷つけてしまうこともあるので、気をつけていただきたいと思います。

菱谷: 姉が病児保育の現場で働いています。ドラマの題材として取り上げられるなど注目を集めていると思うのですが、支援体制への取り組みはありますか？

池之上: 子の看護休業については規程でも定めているのですが、無給となるため実際には有休を活用していることが多いです。病児保育での取り組みについて一番のネックになるのは、プリモ・ジャパンは全国に店舗が存在し、そこに平等の措置をする必要があるということです。



〈対談相手〉

人事部 部長 池之上 倫子
 労務グループ マネージャー 中村 貴子
 労務グループ 山上 寛子



中村: 支援金の支給など金銭的な援助が良いのか、病児保育を行っている施設を紹介するなど制度的な援助が良いのか、根本的な視点から検討する必要があります。

播口: RING PROJECT 設立当初と比べると、お子さんがいて働いている社員は増えていると思います。他社様で実施している、企業内保育所という取り組みはどうでしょうか？

池之上: 企業内に保育園を設けるには環境整備が厳しく申請から承認までも時間を要するため、今すぐに取り組むことは難しいです。

山上: 例えば本社にそのような施設を設ける場合、社員は首都圏内のさまざまなエリアに住んでいるので、社内託児所を作ったとしても子供を連れて1～2時間通勤する社員が出るという負担も発生してしまうので、熟考が必要です。

長内: 待機児童という言葉をよく耳にします。保育園に入園を希望しても入れないことは、実際の程度あるのでしょうか？



池之上: 社内でもほとんどの人が対象になっていると言っても過言ではない状況です。公営の保育園がもっと増えてくれればと思うのですが…会社復帰したいのに、子供を預けられず戻ることが出来ないという社員が多くいます。

藤谷: 役職者で、産休・育休をフルで取得した事例はありますか？



池之上: 北陸グループの田上GMがその事例に当たります。復帰時も役職者として事前に分かっていたので、休業中は店舗の中で店長代理を立てて勤めていたでいました。

播口: 店舗の状況によっては店長不在でも運営できる場所もありますが、店長として戻れることを望みながら叶わなかった人も見てきた記憶があります。

池之上: 社員全員の認識を大きく変える必要があると考えています。店長としてお勤めし、産休・育休を取ることが出来るモデルを、これから作っていくことを目指します。そのためには店長が時短勤務することに対して周りが違和感を持たないような環境整備をしていかなければいけません。個人としては、本人が望めば時短でも店長勤務は出来ると思っているので、本人の意思を尊重しながらそのような実例を増やしていきたいと考えています。

山上: 時短勤務の方と一緒に仕事をすることで、店舗内で工夫していることはありますか？

播口: 短い時間しか働けない方だけではなく、育休後早めに復帰して短い時間だけでも店舗を助けてくれている方なのだ、という認識の統一を行っていました。

田中: 休日にお子さんのイベントがあった際、お休みを取れなかった姿を見たことがありました。「取れる権利」だと周りのことを考えて気を遣ってしまうので、「必ず取ってくださいという決まり」にしてしまうのはどうでしょうか？



中村: 強制的な決まりにしてしまうと、休む必要がない事例があった際に歪が生じてしまいます。周りに気を遣いすぎてしまって結局お休みが取れないというような、会社の雰囲気を変えていく取り組みが重要だと考えています。

播口: RING PROJECT メンバーがいる店舗で働くパパさんママさんがいる場合は、「お子さんのイベントがある際はお休みを取ってください!」と率先して働きかけを行っていくことで、社内の雰囲気を少しずつでも変えていきたいと思います。

田中: 子育てと仕事の両立について、実体験がないと分からない世界であるため、社員それぞれの認識が足りない部分が多くあると思います。産休育休取得が、キレイゴトに見えてしまっている部分もあるのではと感じることもあります。何故そのような支援を行っているのか、現実問題として捉えられるような取り組みが必要なのではないでしょうか。

池之上: 女性が多い会社だからこそ、仕事と子育ての両立支援を進めていくことは必須だと考えています。お休みを取る方も復帰を待つ店舗の方も、どちらも心地よく働けることを目指していきます。

男性社員への配慮もひろげ、さらなる職場環境の向上へ

播口: ダイバーシティ推進の様々な取り組みの中で、男性社員の育休取得が今回大きなトピックスになったと感じていますが、今後も推奨していくのでしょうか？

池之上: もちろん推進していきます。今回藤川部長が取得したことで、「男性でも育休を取得できるんだ・取得して良いんだ」という認識が広がったのではと期待しています。また男性がスムーズに育休を取得できる環境整備として、配偶者のご懐妊を事前に認知出来る制度を整えていきます。

播口: ダイバーシティ推進については、RING PROJECTにも【よりよい職場環境を目指して】という柱があります。以前採用いただいた半休制度のように、社員の働きやすい環境づくりにまつわる提案を今後も検討していきます。



地域・環境への思いやり

中学生の職場体験

職場体験とは、今後の進路を考えるにあたり実際にどんな職業があるのか仕事を体験してみるという学習で、全国の中学校で2年生に対して行われているプログラムです。3年目の今年はエリアを拡大して6ヶ所で実施いたしました。朝礼・店舗清掃・リング磨きなど店舗運営に欠かせない日々の業務を体験していただくだけでなく、ブライダルについてやダイヤモンドの知識などの講義、学校でも使えるマナー講座など、働くことについて少しでも興味を持っていただけるように様々なコンテンツをご用意しました。

京都

日程：5月19～21日 場所：アイプリモ京都店
参加：京都市立御池中学校より1名

生徒数は1名でしたが、緊張しながらも楽しんでくれました。後日御礼のお手紙まで頂き、私達もすごく嬉しかったです。是非、来年も引き続き実施が出来るよう体制を整えて参ります。



仙台

日程：10月27～29日
場所：アイプリモ仙台店
参加：仙台市立幸町中学校より5名

仙台での職場体験は2年目を迎えます。昨年と同じ学校の5名の生徒の皆さんに、3日間ブライダルジュエリーに触れて頂きました。学校でも積極的に活動している子が多く、たくさん質問をしたり、アイデアを出してくれました。今回初めての試みで、提携している結婚式のチャペルを見学させていただけたことも、貴重な経験になったことと思います。



千葉

日程：6月24～25日 場所：アイプリモ千葉店
参加：千葉市立新宿中学校より2名

接客体験ではお客様役とスタッフ役の両方を経験してもらい、お客様と話しをさせて頂く上での楽しさや大切さも感じていただけたのではないかと思います。これから皆さんの可能性を秘めている学生の、将来の夢を持つきっかけにして頂ける様、今後もぜひ続けていきたいです。



柏

日程：11月12～13日 場所：アイプリモ柏店
参加：柏市立柏中学校より3名

ジュエリーに興味を持つ生徒さんや、将来ブライダルの仕事に就きたいと言っていた学生さん達。皆さん、キラキラとした表情で話しを聞いてくださり、リングやダイヤモンドに触れてくれていました。いつもと違う空間に少し緊張しつつも、初めての事に精一杯取り組んで頂き、最後の感想では「職場体験をアイプリモにして良かったです。」というお声も頂くことが出来ました。学生さんにとっても、私たちにとっても、とても貴重なこの体験を今後もぜひ続けていきたいです。



津田沼

日程：11月27日
場所：アイプリモ津田沼店
参加：習志野第六中学校より2名

それぞれしっかりと夢を持っていて、将来に生かすことが出来ればという思いで参加してくれました。初めてのダイヤモンドやブライダルリングの綺麗さにとても感動されていましたが、何よりも仕事において、お客様に喜んで頂けるやりがいや楽しさを感じて頂くことができたかと思っています。こういった活動により、将来への思いや希望をさらに強くイメージして頂けたらとても嬉しいです。



札幌

日程：11月18～19日 場所：アイプリモ札幌店
参加：札幌市立中央中学校より2名

ブライダルについてのこと・ダイヤモンドのこと、そしてアイプリモのことなどをお伝えさせて頂きました。最初は緊張をしていた生徒さんも、接客体験やリングのクリーニング・BOXのリボン掛けなど多くの体験を行い、徐々に笑顔を見せ大変喜んでくれている様子でした。2日目には会場見学も行い、結婚という夢・接客業というお仕事にも興味を持っていただけ、選ぶお仕事候補にもなったようでした。充実した二日間となり生徒さんの未来の夢作りに貢献することが出来ました。



清掃活動

片瀬江ノ島海岸

5月14日、湘南エリアでも有名な片瀬江ノ島海岸の清掃を行いました。当日は8名の社員が参加し、強風の中での作業の中2時間程で大量のゴミを集める事が出来ました。食べ物のゴミは勿論、茶碗などの破片など危険な物も沢山落ちていたのが印象的でした。夏場だけではなく、1年中人が多く集まり、子供も多い江ノ島だからこそ、「常に綺麗な状態を保ちたい」そう感じた海岸清掃となりました。



富士山

6月18日、3回目となる富士山清掃を行いました。NPO法人富士山クラブの方々の指導のもと、リングプロジェクトメンバーだけではなく、本社・関東エリアの社員も参加し、総勢27名で富士山の清掃を実施しました。今回は林道に入り、2組に別れて活動しました。1軒分程の瓦や、生活品・家電が不法投棄され、限られた時間ではありましたが、トラックの荷台に溢れんばかりのごみを回収しました。様々な企業や団体が定期的に清掃しているのにも関わらず、ごみが無くならない現状が悔しく悲しい限りではありますが、いつか“ごみゼロ”になる事を目指して今後も続けて行きたいと思います。



内灘海岸

6月23日、石川県内灘海岸の清掃活動を行いました。ちなみに内灘海岸は、日本では珍しい一般道路として認定され車が走れる砂浜です。2013年に続き2回目となり、今回は北陸の店舗から6名が集まりました。本格的な海水浴シーズンを前に行いましたが、ロケット花火・タバコの吸殻に空き瓶・空き缶と様々なゴミが集まりました。今後も地域のつながりを大切にし、活動を継続していきます。



平和記念公園

7月28日、広島平和公園の清掃活動を行いました。炎天下の中、13名の社員が集まりました。被爆70周年を迎える広島の平和公園では、週に何度かボランティアの方々が清掃を行っているようで、ほとんどゴミがありませんでした。せっかくの活動でゴミがないことを残念に思う気持ちもありましたが、広島のシンボルでもある平和公園が地域の人たちによって綺麗に保たれている事に嬉しさを感じました。参加者から「やる事に意味がある！」の言葉も挙がり、今後も中国エリアで清掃活動を行って行きたいと思います。



マーブルビーチ

9月15日、昨年に引き続き関西でもビーチクリーンを行いました。RING PROJECTメンバー外からも11名ものスタッフから参加表明があり、関西エリアでは毎年恒例のイベントになりつつあります。6月実施だった昨年度は、たばこの吸殻やペットボトルが目立っていたのに対し、9月実施の本年度は花火のゴミがほとんどで、時期によってゴミの種類もこれだけ変わるのかと驚きました。短時間での活動でしたが、最終ゴミ袋10袋以上の回収ができ、微力ながらもビーチクリーンへ貢献することが出来ました。



04
社会貢献活動

東日本大震災支援活動

写真洗浄ボランティア

震災から4年が経った今でも、貴重な思い出となる写真の洗浄は続いています。出来る限り復元の可能性を消さないように、無理なく独自の 방법으로洗浄に取り組み、データ化も進めています。今後も皆様へおもいでかえるように協力していきたいと思っています。

実施日	2015年5月21日(木)
場 所	仙台市若林区六丁目13番20号元町 HTビル201号室
参加者	RING PROJECT メンバー 計5名
内 容	写真保護のためのスキャナーでの読み込み、 ポケットアルバムへの収納



気仙沼プレクリスマス会

気仙沼市の復興を願い、今年で5回目となるクリスマス会を実施しました。今年の特徴としては、3歳未満のお子様が多く、震災後に誕生したお子様たちがメインでの参加となりました。地元ケーブルテレビの取材もある中で、恒例のクリスマスツリーの飾りつけ・写真撮影・帽子作り・紙芝居・ダンスといった内容で、子供たちと楽しい時間を過ごす事が出来ました。最後にサンタさんから一人ひとりプレゼントをもらって、一番の笑顔でみんな喜んでいました。

実施日	2015年11月19日(木)
場 所	気仙沼市民健康管理センター「すこやか」 多目的ホール
参加者	古町児童館 及び 周辺の児童と母親 71組 156名 RING PROJECTメンバー 計12名
内 容	おでかけ児童館「少し早いクリスマス会」



ジョブプラクティス

児童養護施設で生活する中学生・高校生への進学・就職支援の一環として、実際の仕事を体験するプログラムです。

東京

関東近郊の児童施設で生活する学生へ、8月20日に6回目となる職場体験プログラムを実施しました。今年は過去最多の18名の学生に参加頂きました。

当日はマナー研修をクイズ形式で行い、お昼時にはランチを取りながらコミュニケーションを取り、ペアを組んで他己紹介をして頂きました。接客体験ではアイプリモ銀座本店に移動して、販売員役の学生さんが緊張しながらも似合うリングを提案し、終わった後には楽しかったという声も聞こえました。最後に質疑応答を行いました。進学・就職する上での質問が多く、少しでも将来への不安が軽くなるようにスタッフ全員でお答えしました。



名古屋

8月26日、愛知県の児童養護施設で生活する学生へ職業体験プログラムを実施しました。昨年に引き続き2回目の開催で、昨年の評判を聞きつけて、中学生3名・高校生3名と4施設から計6名に参加頂きました。

恒例となっているアイプリモのプロポーズ企画映像では、恥ずかしがりながらも奇跡の瞬間に感動してくれていました。その後ラザールダイヤモンド名古屋店に移動し、マナー研修と販売体験を行いました。名古屋エリアは他エリアと比べ就職率が高いためか、マナー研修を一生懸命受けている姿がとても印象的でした。販売体験では、本物の宝石に目を輝かせ、楽しみながら実施できました。最後の質疑応答では、社会人の楽しさや大変さを話す事ができ、少しでも未来のお手伝いができたのではないかと思います。



ピンクリボンキャンペーン

プロジェクト発足時から行われているピンクリボン運動。昨年に引き続き、腸内で生成される発がん物質を抑制するといわれるビタミンCを多く含んだ、100%天然由来のカムカムキャンディをお客様へお配りしました。また、オリジナルのピンクリボンロゴバッチを着用し、啓蒙活動に取り組んでいます。



古着回収

3年目の活動となった古着の回収。本年度は、日本リユースシステム株式会社様の「古着deワクチン」に参加し、例年より多くの古着を回収することが出来ました。私達が集めた古着は、回収ダンボール1箱につき5人分のワクチン代金が寄付され、更に開発途上国での分類作業を通し、現地での雇用に繋がります。社員全員で取り組める活動として、意識も高く取り組めている貢献活動です。



古本回収

2015年より新しい取り組みとして、株式会社バリューブックス様の「BOOKS FOR JAPAN」を通じ、古本の回収・寄付にも参加致しました。こちらは東日本大震災の被災地支援寄付に充てられます。

2015年活動一覧

- 1月 | キックオフミーティング
- 3月 | 第2回定例ミーティング
- 5月 | 湘南エリア清掃活動、中学生の職場体験@京都、東日本大震災写真洗浄活動
- 6月 | 第3回定例ミーティング、富士山清掃活動、北陸エリア清掃活動、中学生の職場体験@千葉
- 7月 | 広島エリア清掃活動
- 8月 | ジョブプラクティス@東京・名古屋
- 9月 | 関西エリア清掃活動
- 10月 | ピンクリボンキャンペーン、中学生の職場体験@仙台、
- 11月 | 中学生の職場体験@札幌・仙台・柏・津田沼、気仙沼プレクリスマスイベント

〈ブランド概要〉

当社グループはプライダルカップルに向けた、プライダルダイヤモンドリング（婚約・結婚指輪）の専門店「アイプリモ」を日本国内で63店舗、台湾で11店舗、香港で3店舗、ダイヤモンド専門店「ラザールダイヤモンドブティック」を日本国内で15店舗展開しております。プライダルリングは、既製品を販売するのではなく、お客様のご予算、ご希望、ライフスタイルに合わせて、自由に組み合わせることができるセミオーダースタイルを採用し、理想の指輪を創りあげるサービスを提供しています。今後も、より一層お客様に満足して頂けるサービスを心がけて参ります。

〈アイプリモ〉

I-PRIMO

日本最大規模の店舗数を誇るプライダリング専門店「アイプリモ」。豊富なダイヤモンドルース（裸石）とリングの申からお好みのものを選んで婚約指輪をつくる『セミオーダースタイル』を採用しています。

ピンクのブランドカラーは、幸せいっぱいのおふたりの“幸福感”を象徴し、専門店ならではの多彩なデザインバリエーションよりお好みの婚約指輪・結婚指輪をお選び頂いております。洗練されたリングデザイン、独自の仕入れルートにより実現した適性プライス、末永く輝き続ける指輪をサポートするためアフターケアも充実させ、幸福なお二人へのリングをご提案致します。



〈ラザールダイヤモンドブティック〉



THE LAZARE DIAMOND®

ニューヨークのダイヤモンドカッターズ・ブランドである「ラザールキャプランインターナショナル」と販売店契約を結び「ラザールダイヤモンドブティック」を展開しております。

「ラザールダイヤモンド」とはダイヤモンドの歴史において「カットिंगの魔術師」「Mr. ダイヤモンド」とも呼ばれた、伝説的人物ラザール・キャプラン創設の名門ブランド。ダイヤモンドの理想的な輝きを引き出すカットング技術・アイディアルメイクを確立し、その至高の輝きは“世界で最も美しいダイヤモンド”と称され、ダイヤモンドの輝きへの限りない情熱は一世を超え今なお引き継がれています。ラグジュアリーブランドとして婚約指輪・結婚指輪の他にファッションアイテムを取り揃えております。



アイプリモ ●

【北海道】	町田店	豊橋店	山口店
	札幌店	岐阜店	【四国】
	函館店	横浜元町店	台北忠孝旗艦店
		横浜ベイクォーター店	台北中山店
【東北】	大宮店	四日市スターアイランド店	新光三越信義新天地A8館店
	仙台店	静岡店	SOGO新竹Big City店
	青森店	浜松店	板橋大連百貨
		津田沼店	台中三民店
		柏店	新光三越台中中港店
		宇都宮店	台中概念店
		高崎店	新光三越台南西門店
		山形店	高雄漢神巨蛋店
		郡山モルティ店	高雄漢神本館店
		いわき店	
【関東】	水戸店	【関西】	
	池袋店	大阪店	
	銀座本店	梅田店	
	日本橋店	近鉄あべのハルカス店	
	新宿店	神戸店	
	丸井吉祥寺店	姫路店	
	立川店	京都店	
		奈良店	
		和歌山店	
		【中国】	
		広島店	
		福山店	
		岡山店	

ラザールダイヤモンドブティック ●

札幌店	新宿店	大宮店	大阪店	ノートルダム神戸店
仙台店	横浜元町店	名古屋店	梅田ヒルトンプラザ	広島店
銀座本店	横浜みなとみらい店	京都店	神戸店	福岡店

【台湾】	
	台北忠孝旗艦店
	台北中山店
	新光三越信義新天地A8館店
	SOGO新竹Big City店
	板橋大連百貨
	台中三民店
	新光三越台中中港店
	台中概念店
	新光三越台南西門店
	高雄漢神巨蛋店
	高雄漢神本館店
【香港】	
	銅鑼灣旗艦店
	尖沙咀 The ONE店
	旺角雅蘭中心店



〈会社概要〉

商号	プリモ・ジャパン株式会社	従業員数	623名(2015年4月1現在 ※正社員のみ)
事業内容	プライダリングジュエリーの企画・販売	本社	東京都中央区銀座三丁目15番10号 菱進銀座イーストミラービル6F
創立	1999年4月15日	子会社	Primo Israel Diamond Ltd. 璞琳夢鑽石股份有限公司 Primo Diamond Hong Kong Ltd.
代表者	澤野 直樹		
資本金	1億円		

本レポートの表紙には“PRIMO RING PROJECT”のシンボルパターンがデザインされています。

結婚指輪に由来したパッチワークとして古くから伝わる“ダブルウェディングリング”をモチーフとし、“アイプリモ”と“ラザールダイヤモンドブティック”のそれぞれのテーマカラーを併せ持ったシンボルです。

「つながり」や「広がり」、「幸せの連鎖」といった、プロジェクトに込めた想いを表現しています。

 PRIMÒ JAPAN

<http://www.primojapan.co.jp>

